

職員による自己評価

A環境面

- ・バリアフリーとは言い難い。
- ・児童の成長と行動特性によっては狭く感じる。
- ・外階段が急。
- ・当日の利用児童によって活動場所を考えるなど、出来る限りの配慮をしている。
- ・人員配置については適正。

B児童への支援内容

- ・各イベントに対して担当職員を決め、遂行している。
- ・朝夕のミーティングで情報共有と意見のすり合わせをしている。
- ・児童特性に合わせて同じレクでも内容の違うものになっている。

C関係機関との連携

- ・地域の連絡会、児童のケース会には児発管が参加している。
- ・外部講師を招いて年2回の研修を行い、正職員は参加している。
- ・区役所、療育センターとの連絡は管理者がメインで連絡をとっている。
- ・商店街の中に事業所があるので、レクの中に交流する機会を設けている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・月一回の新聞発行や毎日のブログの更新をしている。
- ・利用時には、送迎の際本人の様子をお伝えしている。
- ・特機事項があった場合は、利用日ではなくても電話やメールにて対応している。
- ・事故、ケガについては、迅速に対応するよう、事業所内で話し合っている。

E非常対応

- ・年2回の避難訓練では、地震、火事、水害、台風など様々な状況を想定して行っている。
- ・事故、ケガについては、すぐに保護者様に連絡するようにしている。

保護者による評価

A環境面

- ・外階段が急だと感じる。
- ・外階段のスペースが暗い
- ・事業所の中はバリアフリーだが、エレベーターはない。
- ・スロープがない
- ・子供の成長を見ていると、事業所が狭いと感じる事もある。
- ・施設自体が狭い(小4)
- ・施設を狭く感じるが子供たちは気にしてなさそうなので何とも言えない。
- ・十分かと聞かれると限界を感じる場面もある。
- ・狭く感じるが仕方ない。
- ・子供にとって今の広さは丁度良い。(小1)
- ・クールダウンスペースが欲しい。
- ・スタッフの専門性は人による。
- ・配置数に関してはよくわからない

B児童への支援内容

- ・毎日のプログラムが組まれている。
- ・イベントがたくさんあって楽しそう。
- ・子供はイベントカレンダーを見て楽しそうにしています。
- ・児童クラブや健常児との交流する機会は望んでいない。
- ・交流する機会の必要性を感じない。
- ・交流については不明。

C事業所からの情報発信

- ・送迎時に当日の様子など話してくれる。
- ・ライズ新聞でイベントの様子がわかる。
- ・ブログで毎日様子をアップしてくれているのでわかりやすい。
- ・スタッフが子供の成長段階や課題をよく理解していると感じる。
- ・申し送りが丁寧です。
- ・送迎スタッフが当日の利用児童の様子をわからない事がある。
- ・父母会は希望しない
- ・参観日などあれば参加したい。

D非常対応

- ・定期的な避難訓練を行っている。
- ・詳細がわからない。
- ・マニュアルを作成し、配布してほしい。

【共通点】

- ・施設の狭さ、静養室の必要性。
- ・事業所の立地、外階段の危険さ。
- ・イベントの豊富さ

【相違点】

- ・非常災害時の対応
- ・スタッフによる知識量の違い
- ・保護者様同士の交流の機会や健常児との関わり

事業所内での分析

事業所の強み

- ・職員同士が前向きで意見交換が豊富にできている。
- ・情報共有の場面を増やし、漏れのないようにしている。

事業所の改善点

- ・非常災害時の対応と周知について
- ・施設内のスペース確保と活動内容について

事業所の改善への取り組み

- ・ハード面に関しては(事業所の立地、施設のスペース)すぐに改善する事が難しいので、出来る限りパーテーションや別室対応を行い、落ち着いて過ごせるようにしていく。
- ・外階段使用時には、必ずスタッフが付き、危険のないようにしていく。
- ・非常災害時の周知について、避難訓練の際に、別紙にて説明書を添付する。
- ・参観週間を作ったり、動画で活動内容の配信を行ったり検討中。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

アンケートにご協力頂き、たくさんの意見を頂けたこと感謝いたします。スタッフと保護者様の間では、信頼関係なくしては支援ができませんので、たくさんのご意見真摯に受け止め、改善に繋げていきたいと感じています。また、事業所が次年度で8年目を迎えるにあたって、利用児童も成長して参りました。保護者様もお子様の成長と共に悩みもそれぞれあり、先輩保護者様や交流を持ちたいと考えている方が増えてきたと感じております。コロナ禍ではありますが、配信や参観、保護者参加型のイベントを作り上げていきたいと感じております。職員一同、協力しあい、児童1人1人の自立のサポートが出来るよう、また笑顔が守れるよう日々の勉強を続けてまいります。